

なぎそ 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和6年第3回臨時会

議会だより目次

第3回臨時会が10月24日に1日間の会期で開かれました。

★第3回臨時会可決議案一覧	14 P
☆補正予算(第5号)	14 P
★各種報告	
☆木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会	15 P
☆国道256号改良促進特別委員会・経済観光常任委員会	15 P
☆議会のあり方研究特別委員会	16 P
・住民懇談会を開催しました ・CATV放映	
☆リニア新幹線対策特別委員会	17 P

第3回臨時会可決議案一覧

○：賛成挙手
×：挙手せず

予算関連議案		山下	藤原	伊藤	近藤	矢澤	松原	坂本	山崎	高橋
●令和6年度 補正予算	・一般会計(第5号)の補正は5,161千円増額し、総額41億6,567万1千円となります。 審議内容掲載P14	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他議案		山下	藤原	伊藤	近藤	矢澤	松原	坂本	山崎	高橋
●事故の和解及び損害賠償額の決定について	・地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、事故による損害について和解し賠償するものです。									
●令和6年度妻籠地区防災施設更新工事請負契約の締結について	契約金額：68,200,000円 契約の相手方：株式会社名工土木									
		○	○	○	○	○	○	○	○	○

補正予算審議概要

令和6年度補正予算(一般会計)が10月臨時会で審議され、全会一致で承認されました。補正予算概要を下の表に示します。

補正の内容は、10月27日投開票の衆議院総選挙実施の経費、516万1千円です。

●一般会計補正予算

(単位：千円)

会 計	補 正 額	補正後の金額
一般会計(第5号)	5,161	4,165,671

報告 木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会

10月9日(水)、大桑村野尻地区館において木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会が開催されました。

南木曽町・上松町・大桑村・王滝村の議員が出席し、来賓として国土交通省、全国治水砂防協会、南木曽町・大桑村の各首長のほか、多くの皆様に出席いただきました。

総会では、令和5年度事業報告・収支決算報告と令和6年度事業計画・収支予算、役員改選などが審議されました。

令和6年度事業計画は、研修会や連盟独自の要

望活動を決定しました。また会長には大桑村議会鈴木武議長、副会長には上松町議会永井嘉男議長と南木曽町議会早川親利議長を全員一致で承認しました。

講演会は、国土交通省水管理・国土保全局砂防部長の草野愼一氏による『『いのち』と『くらし』と『みどり』を守る砂防』、全国治水砂防協会副会長の岡本正男氏による「独断と偏見の砂防雑学」、国土交通省多治見砂防国道事務所長の森下淳氏の「木曽南部地域における直轄砂防事業」でした。



草野愼一氏による講演



岡本正男氏による講演



森下淳氏による講演

委員会報告 国道256号改良促進特別委員会・経済観光常任委員会

10月29日(火)、国道256号改良促進特別委員会と経済観光常任委員会が合同で、木曽建設事務所との現地視察・意見交換会を開催しました。

●国道256号改良促進特別委員会報告

国道256号漆畑拡幅の現地視察

- ・現在、梨の木橋が架設され、道路拡幅工事を行っています。

国道256号（蘭）の現地視察

- ・現在、町道蘭線との交差点部の改良工事を行っています。

●経済観光常任委員会報告

下記の路線は、国道19号が通行止めになった際の代替路線として期待されています。

主要地方道中津川南木曽線妻籠（下り谷）の現地視察

- ・現在、道路拡幅工事を行っています。滝上橋の架け替えのための仮橋が完成し、迂回して通れるようになっています。

主要地方道中津川田立線の田立大橋の現地視察

- ・現在、田立大橋が架設され、取付部分の工事を行っています。来年3月に通れるようになります。

●意見交換会での主な意見等

- ・バス等が走りにくい状況なので中津川南木曽線のカーブ支障木を切ってほしい。
- ・国道256号の支障木の伐採をお願いしたい。
- ・中津川田立線について岐阜県との交渉を続けてほしい。
- ・木曽川沿いの草木を刈ってもらいたい。

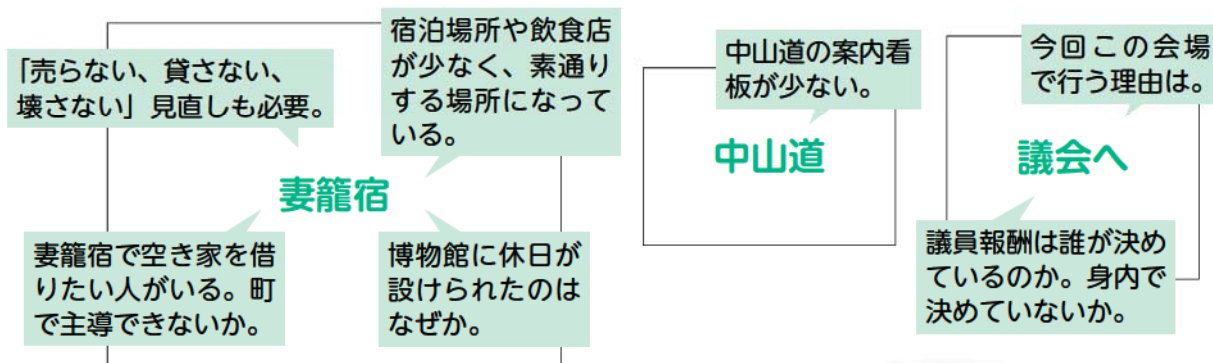


滝上橋の仮設橋

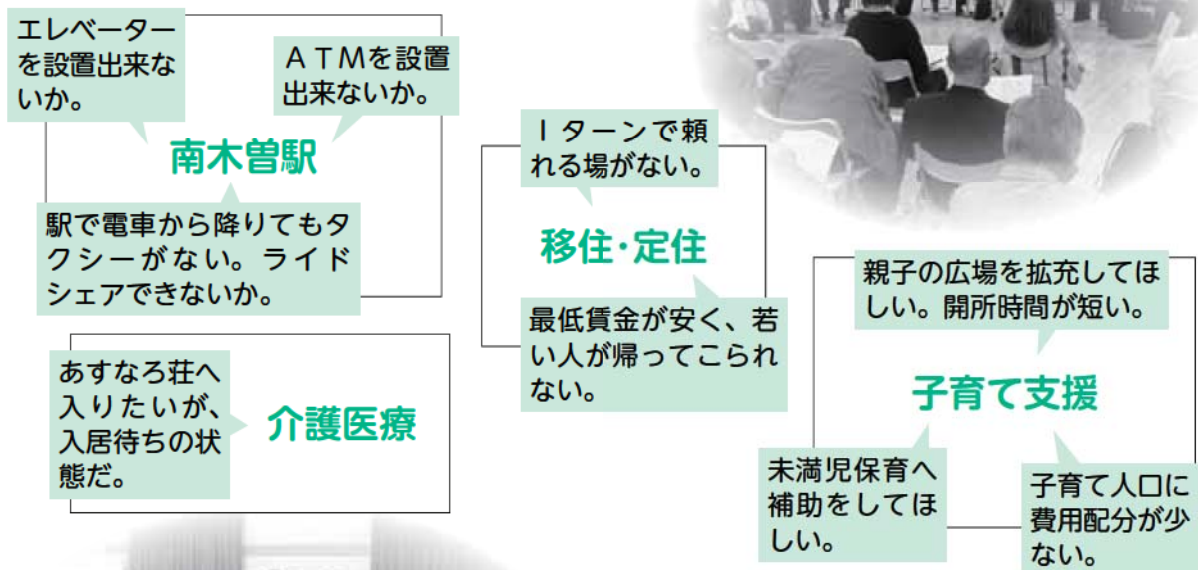
(文責：矢澤和重委員長)

委員会報告 議会による住民懇談会 議会のあり方研究特別委員会

10月16日(水)午後6時30分より妻籠町並み交流センターにおいて、コロナ禍で見合わせていた住民懇談会を5年ぶりに開催しました。夕方の時間帯ではありましたが、町内各地から老若男女20名の方々の参加がありました。



～多くの意見が寄せられました。～



参加者へのアンケートから

【懇談会のやり方】

- ・もっと多くの参加者があるとよい
- ・参加者全員が発言できるような進행을
- ・グループ分けをして意見を聞いてはどうか
- ・自由に意見が言えた
- ・意見や質問に誠実に回答していた
- ・出された意見要望の結果を伝えてほしい

【内容など】

- ・周りの人の意見を聞くだけでもためになった
- ・移住者の切実な意見は勉強になった
- ・若い子育て世代の意見もあってよかった
- ・人口減を中心に話し合いを持ってほしい
- ・議会のテレビ放映は

今回皆さんから頂戴したさまざまなご意見・ご質問・ご要望等を集約し、掲載させていただきます。

また、今後の議会および議員活動に反映していきたいと思っております。

大変有意義な懇談会になりましたことに感謝申し上げます。

伊藤寿子委員長

お知らせ

議会のケーブルテレビ 放映について

10月24日(木)、議会のあり方研究特別委員会では懸案であったケーブルテレビ放映の実施について、業者からの説明を議場において受け、**12月議会からの放映に向けて準備を進めることにしました。**
放映時期は後日改めてお知らせします。

委員会報告

リニア新幹線対策特別委員会

9月27日(金)に阿智村議会リニア新幹線対策特別委員会との合同会議を開催しました。令和5年10月の合同会議以来の開催です。

【現地視察】

- ①**広瀬工区工事ヤード**：トンネル掘削が始まった非常口トンネルを視察。JR東海、鉄道建設・運輸施設整備支援機構の説明があった。
- ②**発生土を活用している箇所**：十二兼地区で県発注の木曽川右岸道路の工食用道路に、尾越工区から発生土約2万6千㎡を搬入した箇所を視察。木曽建設事務所からは、木曽川の仮橋設置等を含む説明があった。

【合同会議】

南木曽町の矢澤副委員長の進行で、山崎委員長の開会挨拶、南木曽町早川議長と向井副町長、阿智村吉田議長と熊谷村長の挨拶がありました。

協議事項(1) 両町村委員会の活動状況

○南木曽町（山崎委員長）

- ・前回合同会議以降、町では第38～43回のリニア対策協議会が開催され、昨年12月に発生土置き場候補地（押出北）の現地視察をした。
- ・委員会は、対策協議会に先立って町から会議内容の報告を受け、問題・疑問点を出し合って意見集約を行い、協議会委員を担う委員が協議会で意見を出している。

○阿智村（熊谷委員長）

- ・議会の委員会を毎月開催し、本年9月までに112回開催している。協議・決定・確認を行っている。
- ・七久里開発において発生土が活用される予定。村では住民説明と意見徴収を行い、委員会での議論の結果、これまでの受入条件を外して県に再度置き場候補地を申請した。
- ・南木曽町から飯田下伊那への発生土運搬計画については、JR東海との懇談会を行い、土曜日の運搬計画中止、帰路の中央道中津川回り、冬の運搬時間短縮等を求めた。村には沿線住民や関係団体への説明と意見徴収を要請し、議会は8地区での住民懇談会で意見徴収を行った。

村当局とJRの協議の結果、土曜日運搬の中止を確認し、令和6年8月からの運搬を認めた。

9月現在1日最大400台の上限以下で苦情は出ていない。県は256号の支障木伐採を行った。

協議事項(2) 両町村の動向

○南木曽町（もっと元気に戦略室）

- ・**リニア対策協議会**：リスク軽減、情報共有、意見交換、確認書の確認等を行ってきている。
- ・**工事進捗状況**：【山口工区】本坑が県境100mまで来ている。【広瀬工区】7月から1.6kmの非常口工事を開始。【尾越工区】250mの非常口工事が終了し本坑工事へ。【発生土】飯田下伊那方面への運搬を開始。【水道水源予備的措置】妻籠・向ヶ原・大山高区の3水源の接続は完了。妻籠水源については減濁水した場合の給水可能。
- ・**JR東海との交渉**：協定書等、発生土置き場の検討状況など。
- ・**リニア新幹線の効果を活かす取組み**：「リニア活用検討委員会」を設置。リニア岐阜県駅へのアクセス道路（中津川田立線、中津川南木曽線）の改良工事の進行。

○阿智村（リニア整備対策室）

- ・**概要**：リニア本線が清内路地区3kmを通過し、約71万㎡の発生土が見込まれている。
- ・**委員会**：リニア対策委員会を発足し、協議を進める（平成26年から）。社会環境アセスメント委員会は、発生土運搬が住民生活や観光事業に与える影響を調査。
- ・**発生土運搬路改良工事**：村道1-20号線の6m拡幅が進められ、年度内に終了予定。
- ・**発生土置き場候補地**：萩の平非常口付近のクララ沢ほか、3箇所の手続が進められている。清内路地区では発生土を活用した地域振興の要望がある。
- ・**工事に係る各種確認事項**：環境保全計画書の公表、村道拡幅に関する協定書、工事車両の通行等に関する確認書の締結など。

（文責：山崎隆二委員長）